

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月1日

上場会社名 株式会社ファインシスター 上場取引所 東・名  
 コード番号 5994 URL <http://www.fine-sinter.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 努 (TEL) 0568-88-4355  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	28,976	4.0	1,121	△27.8	1,037	△27.5	371	△50.8
29年3月期第3四半期	27,868	△4.1	1,554	△3.1	1,431	△6.0	755	△8.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,347百万円(△10.2%) 29年3月期第3四半期 1,500百万円(202.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	84.40	—
29年3月期第3四半期	171.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	46,340	18,766	35.8	3,771.44
29年3月期	43,394	17,907	36.7	3,615.97

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 16,599百万円 29年3月期 15,915百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.00	—	40.00	—
30年3月期	—	35.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	40.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成28年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しています。平成29年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合後の金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しています。株式併合後の基準で換算した平成29年3月期の1株当たり年間配当金合計は70円となります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	1.4	2,300	2.4	2,100	2.5	1,100	2.1	249.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	4,420,000株	29年3月期	4,420,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	18,550株	29年3月期	18,468株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	4,401,489株	29年3月期3Q	4,401,793株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では安定した雇用と個人消費の伸長による景気拡大が継続しており、中国を含むアジア経済も底堅い内需と輸出の好調を背景に総じて拡大基調にあります。また、わが国経済も緩やかな景気回復が続いております。

当社製品の主要市場である自動車産業におきましては、国内では新型車の投入効果により前年同期比で販売台数が増加となった一方、米国では減少しております。

こうした状況の中、当社グループは米国第2工場を新設し、トヨタTNGA新規製品や自動変速機用部品等を昨年8月から本格的に量産を開始いたしました。生産準備費用の負担増や原材料市況の世界的な上昇等が利益を圧迫しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は28,976百万円と前年同四半期に比べ1,108百万円(4.0%)の増収、営業利益は1,121百万円と前年同四半期と比べ432百万円(27.8%)の減益、経常利益は1,037百万円と前年同四半期と比べ394百万円(27.5%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、米国における税制改正による繰延税金資産の取崩しに伴う影響等により371百万円と前年同四半期と比べ383百万円(50.8%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①粉末冶金製品事業

自動車用部品につきましては、上記のとおりであります。また、鉄道車両用部品につきましては、新規開発の新幹線用ブレーキライニングの搭載車両増加で売上増となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は27,502百万円と前年同四半期と比べ1,001百万円(3.8%)の増収となり、セグメント利益につきましては、2,216百万円と前年同四半期と比べ340百万円(13.3%)の減益となりました。

#### ②油圧機器製品事業

主に国内・北米・アジアのデンタルチェア用が大きく売上を伸ばし好調に推移しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,468百万円と前年同四半期と比べ107百万円(7.9%)の増収となり、セグメント利益につきましては、442百万円と前年同四半期と比べ67百万円(17.9%)の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金の増加(前連結会計年度末比922百万円増)、受取手形及び売掛金の増加(前連結会計年度末比389百万円増)等により、18,278百万円(前連結会計年度末比1,924百万円増)となりました。固定資産につきましては、有形固定資産の増加(前連結会計年度末比881百万円増)等により、28,062百万円(前連結会計年度末比1,022百万円増)となりました。

以上により、資産合計は46,340百万円(前連結会計年度末比2,946百万円増)となりました。

流動負債につきましては、短期借入金の増加(前連結会計年度末比540百万円増)等により、17,365百万円(前連結会計年度末比432百万円増)となりました。固定負債につきましては長期借入金の増加(前連結会計年度末比1,896百万円増)等により、10,208百万円(前連結会計年度末比1,654百万円増)となりました。

この結果、負債合計は27,574百万円(前連結会計年度末比2,087百万円増)となりました。

純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が41百万円増加、その他の包括利益累計額が642百万円増加したことにより、非支配株主持分を除くと16,599百万円(自己資本比率35.8%)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年10月30日に公表いたしました業績予想から修正を行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,377,972	4,300,480
受取手形及び売掛金	7,366,118	7,756,050
電子記録債権	1,259,570	1,319,515
商品及び製品	564,986	624,420
仕掛品	1,328,056	1,487,814
原材料及び貯蔵品	1,756,890	1,973,678
繰延税金資産	359,788	433,872
その他	340,890	382,633
流動資産合計	16,354,273	18,278,465
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,061,242	13,428,884
減価償却累計額	△7,473,200	△7,783,611
建物及び構築物(純額)	5,588,042	5,645,273
機械装置及び運搬具	40,425,382	43,913,327
減価償却累計額	△31,500,251	△33,052,801
機械装置及び運搬具(純額)	8,925,131	10,860,526
工具、器具及び備品	4,924,390	5,536,610
減価償却累計額	△4,070,752	△4,621,628
工具、器具及び備品(純額)	853,638	914,981
土地	3,530,759	3,557,377
リース資産	1,014,481	532,700
減価償却累計額	△602,428	△381,187
リース資産(純額)	412,052	151,513
建設仮勘定	3,869,634	2,931,584
有形固定資産合計	23,179,257	24,061,256
無形固定資産		
電話加入権	11,407	11,407
リース資産	112,796	82,905
その他	135,811	152,266
無形固定資産合計	260,016	246,579
投資その他の資産		
投資有価証券	2,425,429	2,818,490
長期貸付金	17,619	12,938
繰延税金資産	1,080,554	848,219
その他	87,312	85,182
貸倒引当金	△10,242	△10,242
投資その他の資産合計	3,600,673	3,754,587
固定資産合計	27,039,947	28,062,422
資産合計	43,394,221	46,340,888

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,153,529	3,198,300
電子記録債務	3,393,492	3,325,888
短期借入金	5,304,706	5,845,030
1年内返済予定の長期借入金	1,912,648	2,325,430
リース債務	142,924	110,397
未払法人税等	327,660	175,858
未払消費税等	168,631	184,929
未払費用	613,259	774,067
繰延税金負債	17,862	21,856
賞与引当金	905,633	435,159
役員賞与引当金	37,000	27,454
設備関係支払手形	42,275	33,796
その他	913,316	907,533
流動負債合計	16,932,942	17,365,704
固定負債		
長期借入金	3,582,958	5,479,391
リース債務	418,667	175,732
役員退職慰労引当金	94,623	81,626
退職給付に係る負債	4,098,189	4,121,160
資産除去債務	324,426	329,089
その他	34,926	21,507
固定負債合計	8,553,792	10,208,508
負債合計	25,486,735	27,574,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,203,000	2,203,000
資本剰余金	1,722,945	1,722,945
利益剰余金	11,173,322	11,214,709
自己株式	△29,496	△29,680
株主資本合計	15,069,771	15,110,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,118,170	1,378,597
為替換算調整勘定	212,310	479,411
退職給付に係る調整累計額	△484,433	△369,197
その他の包括利益累計額合計	846,047	1,488,811
非支配株主持分	1,991,667	2,166,889
純資産合計	17,907,486	18,766,676
負債純資産合計	43,394,221	46,340,888

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	27,868,448	28,976,969
売上原価	23,422,447	24,691,114
売上総利益	4,446,001	4,285,855
販売費及び一般管理費	2,891,272	3,164,080
営業利益	1,554,729	1,121,775
営業外収益		
受取利息	9,124	7,210
受取配当金	55,885	64,024
為替差益	—	20,228
作業くず売却収入	14,739	22,218
雑収入	65,311	38,213
営業外収益合計	145,061	151,895
営業外費用		
支払利息	149,742	171,972
固定資産除却損	23,455	18,875
為替差損	70,860	—
雑支出	23,901	45,043
営業外費用合計	267,959	235,892
経常利益	1,431,830	1,037,778
税金等調整前四半期純利益	1,431,830	1,037,778
法人税等	420,667	451,857
四半期純利益	1,011,163	585,920
非支配株主に帰属する四半期純利益	255,879	214,420
親会社株主に帰属する四半期純利益	755,283	371,500

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,011,163	585,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	338,843	260,426
為替換算調整勘定	27,878	386,204
退職給付に係る調整額	122,699	115,281
その他の包括利益合計	489,422	761,912
四半期包括利益	1,500,585	1,347,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,263,037	1,011,872
非支配株主に係る四半期包括利益	237,547	335,959

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(法人税率の変更等による影響)

米国において上下院の改正法案を統一化した最終の税制改正法案が平成29年12月22日（現地時間）に成立し、平成30年1月1日以降の連邦所得法人税率の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、当期の繰延税金資産及び繰延税金負債は、改正後の税率を基礎とした法定実効税率により計算しております。

この結果、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は152,295千円減少し、法人税等調整額が150,705千円増加しております。

## (セグメント情報)

## 1. 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,500,952	1,360,908	27,861,860	6,587	27,868,448	—	27,868,448
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	26,500,952	1,360,908	27,861,860	6,587	27,868,448	—	27,868,448
セグメント利益	2,556,791	375,180	2,931,972	1,282	2,933,255	△1,378,526	1,554,729

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△1,378,526千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,502,118	1,468,388	28,970,507	6,462	28,976,969	—	28,976,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	27,502,118	1,468,388	28,970,507	6,462	28,976,969	—	28,976,969
セグメント利益	2,216,412	442,308	2,658,720	1,783	2,660,503	△1,538,728	1,121,775

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△1,538,728千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。